

第4回JIPA知財シンポジウム  
知的財産人材論  
パネルディスカッション

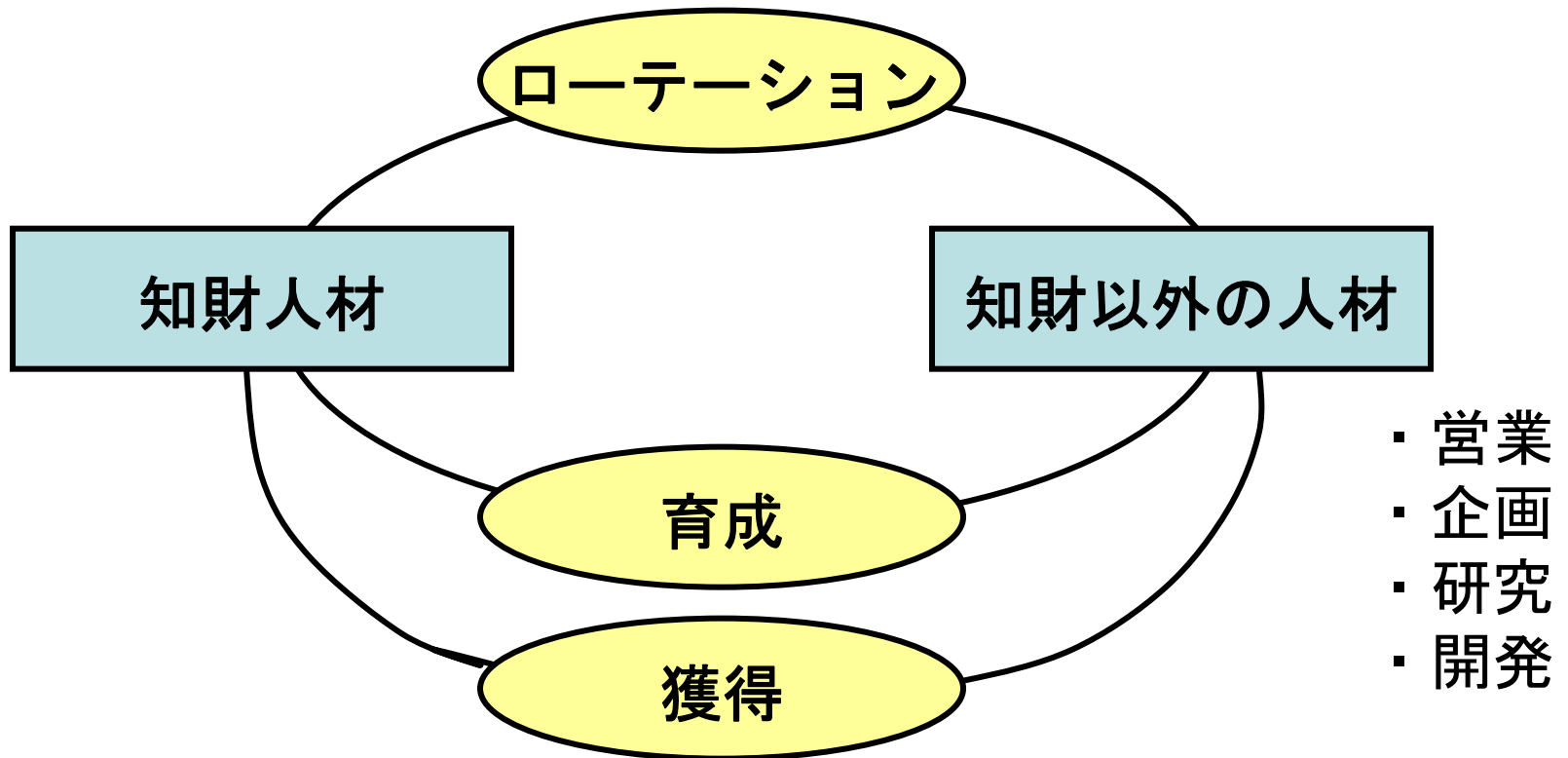
2005年2月22日

富士通 経営執行役  
法務・知的財産権本部長  
加藤幹之

# 知財に対する意識改革が重要 日本は「知財文化革命」が必要だ！

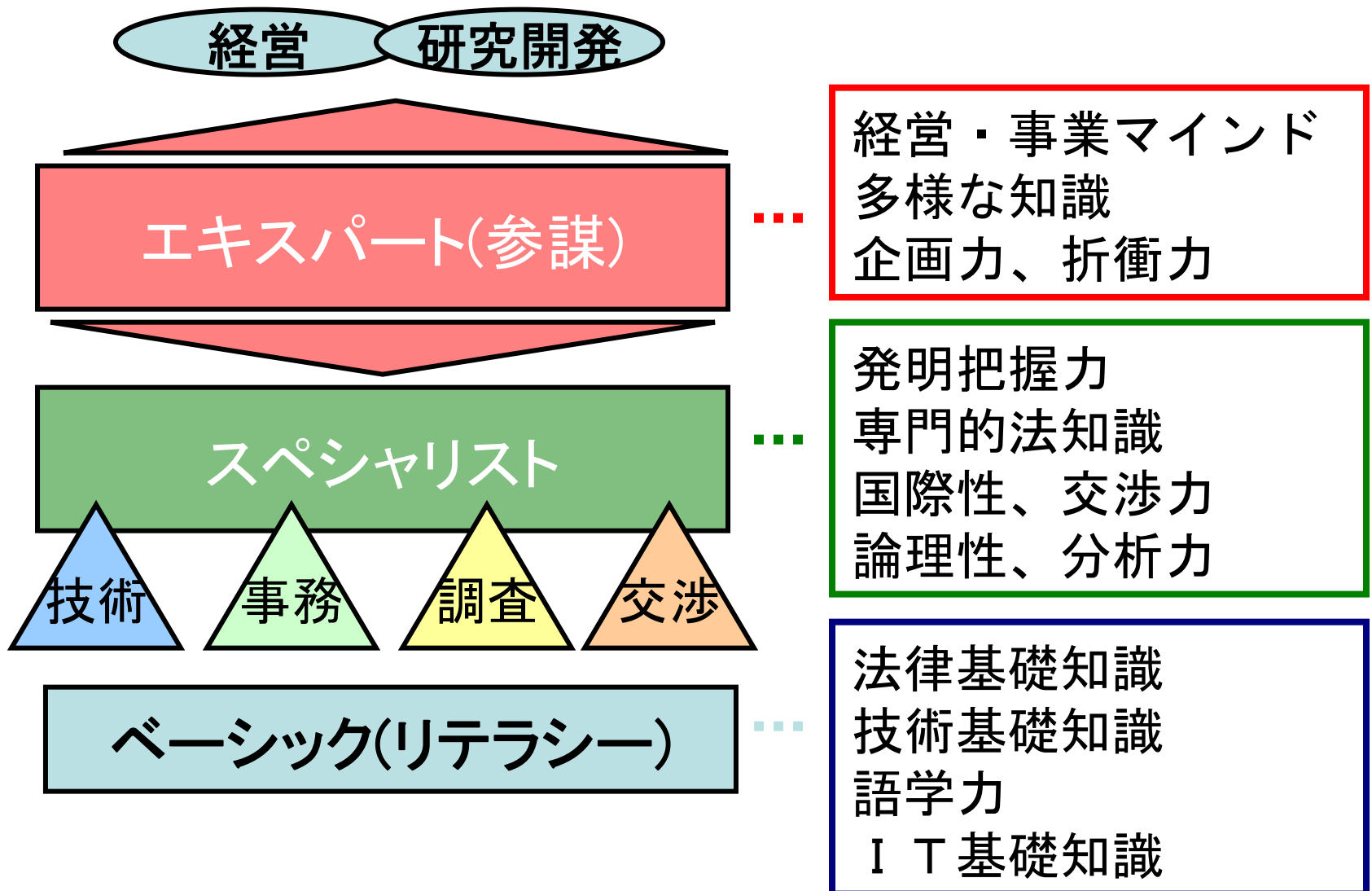
- プロパテントの改革は大きな成果を生んだ
- 知財の制度は、司法制度を含め、欧米に匹敵する制度を確立した ⇒次は、運用だ
- 知財と経営 ⇒経営者の知財意識、知財担当者の経営意識のズレ
- 社会的意識のズレ。権利行使の難しさ。
- Me, too文化からOnly me文化への転換

# 人材の育成と獲得

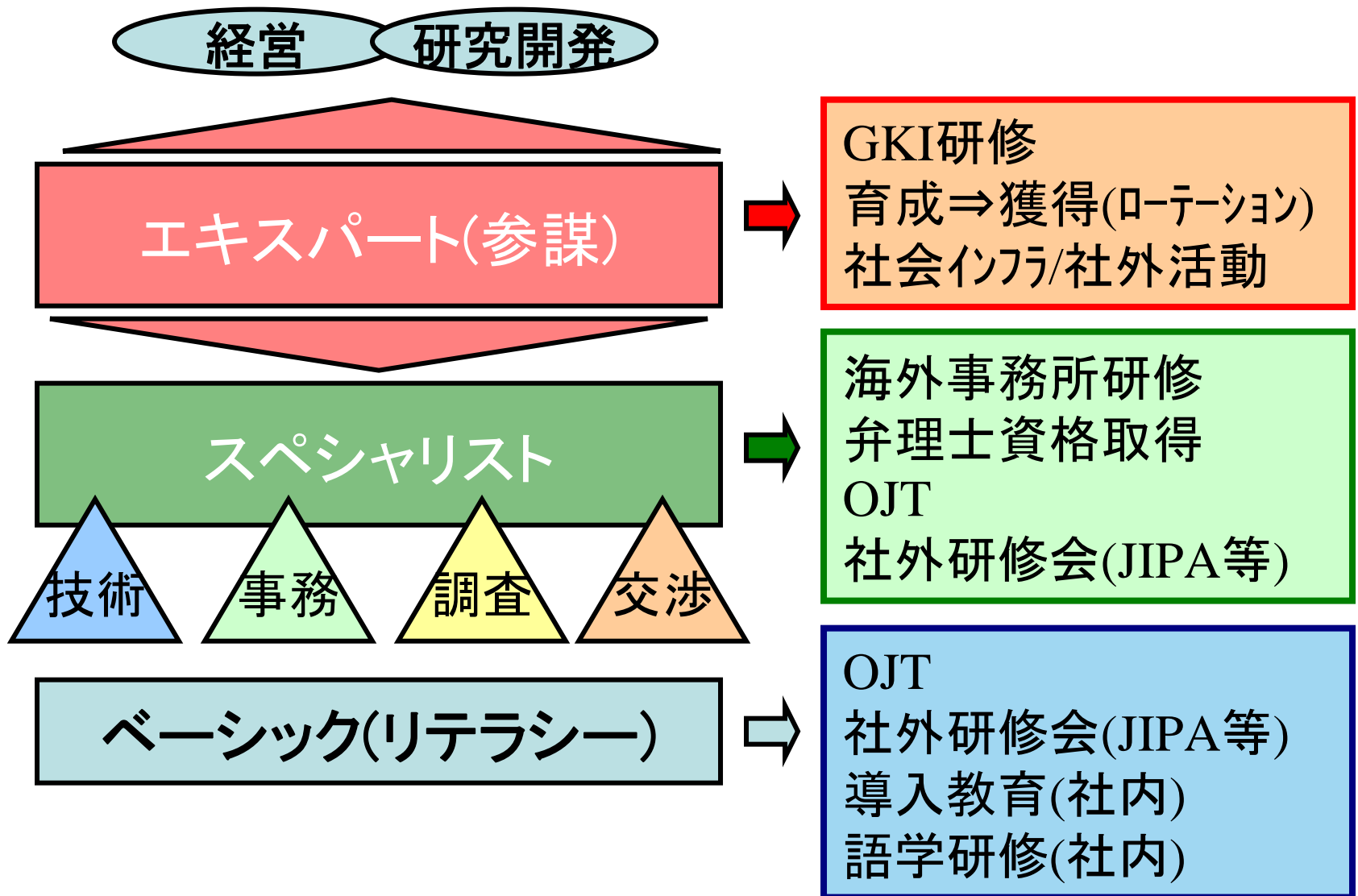


大学等、人材の社会インフラの整備・拡充

# 求められる知財プロ



# 人材育成の現状 — 知財人材向け —



# 人材育成の現状

## －知財以外の人材向け－

		トレーニ	中堅リーダ	幹部社員
必須	共通	特許の基礎 インターネットと知財	リーダ教育	幹部社員教育
	BU	研究所新人教育 SE基本教育	研究所中堅教育	
選択	共通	特許調査基礎 発明の捉え方	技術まとめの会 特許調査 商標／サービスマーク	知財戦略
	BU		特許出願実践 BMP取得実践	特許の活用

「知財文化革命」を実践しよう！

Thank You Very Much.

Masanobu Katoh